# 飯山林福連携事業の(2年間の) 成果とは…2019.12.16協議会でディスカッション

### 本事業での位置づけ

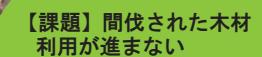
#### 「飯山ログファイヤー」

障がい者等が加工・生産作業を行ったログファ イヤーと位置づけ

#### 「飯山ログファイヤー」の付加価値 として発信していくこと

着火しやすい、保存に適しているなどの機能面 に加えて、障がい者の方たちが加工・生産作業 を行っていること

- ■福祉施設の人がログファイヤー生産の加工に携わ る牛産のため1人を新規雇用
- ■福祉施設の人が2年間でのべ約25人が加工作業 を行い、飯山ログファイヤー約50本を生 産・加工
- ■障がいのある方の生活の場 の増加、選択肢の増加



- ・里山の手入れの不足
- ・資源循環が進まない
- ・ 冬の雪の量が多い

環境

■産学官民が生み出す林福連携事業になった

■福祉と林業(森林)系の人が話し合う場が

# ■**障がい者の「森の利用**」にもつながっている

- ■地域の人が地元の里山・森・木に関心をもつよう に;里山の林道整備等(地域側も一部事業費負担あり)にも地域 住民の賛成で促進へ
  - ■里山の間伐した場所に**カタクリが生育**しはじめた

# ■ログファイヤー販売(全国)展開

■地元キャンプ場、ホテル等から発注の動き

## ■未利用間伐材に価値を付加

- ■ログファイヤー製作体験会で地域の林業家や 住民にログファイヤーの製作方法を普及 (計13人が参加)
  - ■ログファイヤーの規格を明確化
    - ■飯山ログファイヤーの地域イベン トでの活用

# ■「森林サービス」 産業の取組

→新たな飯山版「里 山サービス」のス タート

# 【課題】冬期の林家及び林 業従事者等の収入の減少

- ・冬場の働き場の不足
- ・新しい木材製品が生まれてこ
- ・地域経済循環が少ない



#### 【課題】障がい者の雇用支援 の不足

かりが生育しはじめた くくん

- ・里山の整備人口の高齢化、里山の 整備人口の減少
- 地域住民の意識の低下
- 地域でのつながりがない
- 障がい者の受け入れ場不足

## <作業した障がい者・施設スタッフの声(作業検証アンケート結果より)>

できた

■楽しかった。始めは難しかったけど、やりやすい道具も作って くれて良かった。■はじめは緊張したけど、少しずつ慣れていっ た。まだ、緊張はするけど、楽しかった。■施設から出ての作業 は利用者のモチベーションが上がったように感じた。■作業を通 じて他の人(林業家)と関わり、指導を受けていくにつれて、少し ずつご本人が自信をもって活動していく様子が見らた。

